

2000年11月

TAC SYSTEM

# TAC INFORMATION

Vol.16



---

CONTENTS

- 海外出張レポート（スタジオ視察レポート）
- 海外出張レポート（AES出張レポート）
- 導入実績例
- 新製品ニュース
- 展示会 / 各種御案内

<http://www.tacsystem.com>

[tacsys@tacsystem.com](mailto:tacsys@tacsystem.com)

タックシステム株式会社

# 海外出張レポート

## スタジオ視察レポート

Yasue Shimegi

9/22-9/25にLAで開催されたAES展示会視察の終了後、周辺のスタジオを6件ほど訪問することができましたのでその様子をお伝え致します。

■NRG Studio  
Rorke Data社(ロークデータ社)の宮島様のご紹介にて訪問。こちらはレコーディングスタジオで、6台のProToolsが稼働しており、その6台をRorke Data社の"StudioNetFC"に接続し、社内ネットワークシステムを構築してあります。"StudioNetFC"というのはRorke Data社が推奨するネットワークシステムの名称で、ファイバーチャンネルを使用したシステムです。そのため、スタジオには一切HDはなく、すべてマシーンルームにて管理されておりました。うるさいファンノイズもなく、またデータの共有も可能とします。実にスマートで画期的なシステムを構築してあります。ちなみに11月に行われるInterBEEにて弊ブースにてこのシステムの展示を行う予定ですので、ご興味がありましたら是非お越しください。

また、こちらのスタジオでは内装が非常に個性的なのに大変驚かされました。こういうスタジオもあり!?ですか?、でも音の反射とかは大丈夫なんでしょうか?と、疑問を抱きつつも、その内装の雰囲気(こういう雰囲気はI likeです)に、わくわくするものを感じながら見学してまいりました。壁のアクセントパネルもおしゃれです。ボーカルブースも★ですよ。!!実にインパクトのあるスタジオでした。

### ■4MC (FOUR MEDIA COMPANY)

こちらは、4つのメディア(Television, Studio services/Mastering & Distribution, Broadcast and Syndication, Film and Animation)をターゲットにしたポストプロダクションです。こちらにお伺いして、その大規模なネットワークシステムと、徹底して効率化を重視した作業環境のシステム化に、私は大変ショックを受けました。今後として考えられていたシステムが、現実としてフル稼働していたからです。

まずはネットワークシステム。こちらのメインサーバーシステムは、LAで3番目に大きなシステムで、容量は約2テラバイトを持ち、今後8テラバイトへ拡張の予定もあるとのこと。主な特徴として、

- ・2系統のサーバーを持っている(どちらかが落ちても対応できるようにしている)
- ・高速ネットワーク環境を持っている

こちらの会社はアメリカのAT&Tが関連会社である関係で、そのAT&T社の大規模な端末が設置されている。そのため、社内でも高速ネットワークが利用できる。スタジオ間は100BaseTで接続。これは4MB/s程度のQuickTimeであればリアルタイムに送れるくらい速い接続とのこと。またこのAT&T社により、LA中がOC3コネクション(1000Mbps)という高速ネットワークがはりめぐらされているとのこと。今後はこの高速回線でニューヨーク、ロンドン、シドニー、シンガポールとも結ばれるとのこと。これが結ばれば、どこにいてもリアルタイムベースでデータのやりとりが可能になる。

・サウンドライブラリーデータベースシステムを持っている(効果音等の素材のデータベース化/共有化がシステム化されている) このシステムには"mSoft"という日本ではタイムロードさんの扱われているシステムが導入されている。サウンドライブラリー用のサーバーを持ち、それをmSoft(Webソフト)で各スタジオから検索できるようにしている。検索は検索結果から任意のデータを再生することはもちろん、ProToolsともリンク機能があり、たとえばサンプルレイトの異なるデータでもコンバートして、瞬時にProToolsに送ることができる。ちなみに、これと同様の内容のソフトで弊社取引先のGallery社というパッケージがあります。これは、ファイルメーカーにて行うもので、InterBEEにてデモを行う予定ですので、ご興味がありましたら是非お越しください。

・テープバックアップサーバー 200個のテープを使用しており、24時間体制でバックアップをとっている。バックアップテープはAIT2、バックアップ用ソフトウェアはレトロスペクトを使用。自動的に毎日の追加/変更分をバックアップするようシステム化されている。

そして作業環境のシステム化では、一つの一貫したこだわりをもって作られていました。例えば、クライアントさんはいろいろなフォーマットでデータを持ち込むが、そのフォーマット毎に仕事ができるようにすると混乱したシステムになってしまう。毎日の仕事のスタイルが変わってしまうのでは、効率が悪くなってしまふ。そこで彼らはひとつの選択、メインの機器をまず選択し、その入口と出口だけを各フォーマットに対応できるようにしている。メインを決めることで、どんなフォーマットで持ち込まれても、いつものスタイルに変更がないので混乱せずにスムーズに作業ができるということでした。

そしてこちらの会社では、そのメインの機器としてDigidesignのProToolsを選択していました。その数は、約50台。集中管理のためマシーンルームに設置されておりましたがその光景にため息が出してしまうほどでした。

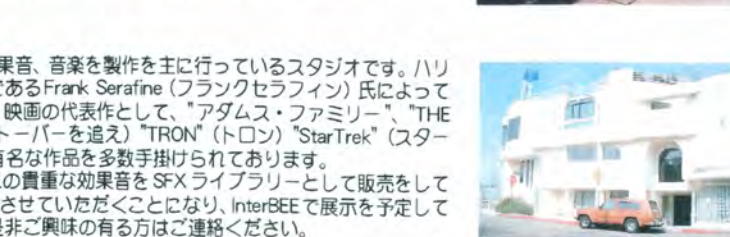
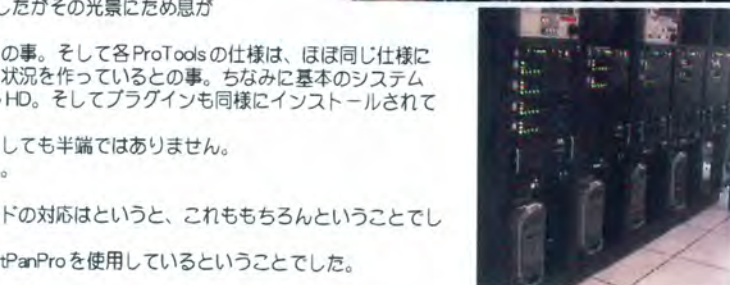
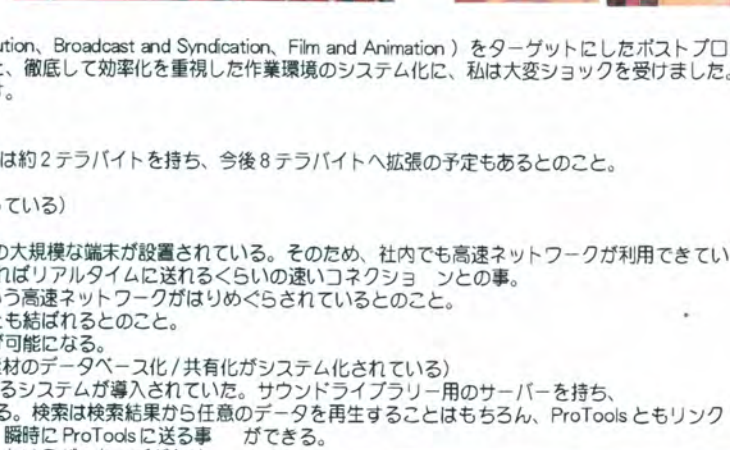
右の写真がそれです。ちなみにこのようなマシーンルームが2フロアにあるとのこと。そして各ProToolsの仕様は、ほぼ同じ仕様になっていて、どこかのスタジオを使用しても、いつもと同じ環境で作業が行える状況を作っているとのこと。ちなみに基本のシステムは、G4、ProTools24MIX Plus、888/24x2、USD、Blt3、2ベイリムーバブルHD。そしてプラグインも同様にインストールされています。

これだけの規模だからこそ、システム化が重要であることはわかるが、それにしても半端ではありません。ちなみにこちらのマシーンルームは後ろ側から配線の変更も容易に行えます。(うーむ。なにかもかもストレスのないようにシステム化されている!!) それから各スタジオ内も、同じ仕様になっているとのこと。気になるサウンドの対応はというと、これももちろんということでした。サウンドはもうすでに向うでは当たり前になっているのだ。ちなみにスピーカーはM&K、サウンドの制作にはKind Of Loud社のSmartPanProを使用しているということでした。

### ■Seraphin スタジオ (場所: ヴェニスビーチ)

こちらは映画、TV、ゲーム、CMのための効果音、音楽を製作を主に行っているスタジオです。ハリウッドでもっとも有名なサウンドデザイナーであるFrank Serafine(フランクセラフィン)氏によって運営されているプライベートスタジオです。映画の代表作として、"アダムス・ファミリー"、"THE HUNT FOR RED OCTOBER"(レッド・オクトーバーを追え)"TRON"(トロン)"Star Trek"(スタートレック)、"ポルターガイストII"など、有名な作品を多数手掛られています。そして、こちらでは、これまでに作られたこの貴重な効果音をSFXライブラリーとして販売をしています。幸運にもこの度弊社にて取り扱いをさせていただきますことになり、InterBEEで展示を予定しています。デモCDもいたできてきたので、是非ご興味のある方はご連絡ください。

また、音楽製作のほうでは、EMAGICのLOGICAUDIOを使用、またRocket Network(MA、ミュージシャンのためのネットワークシステム)を使用し遠隔地にいる人とセッションファイルを共有するという待望のシステムをフルに活用されておりました。



# 海外出張レポート

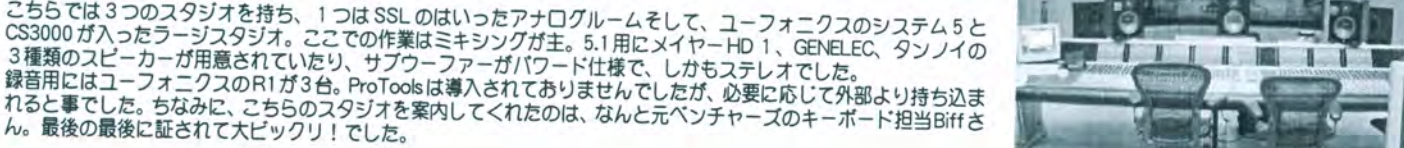
## スタジオ視察レポート

Yasue Shimegi

■NOVASTER STUDIO ノバスタジオ(場所: パサディナ) MetricHaloさん(国内代理店: メディアインテグレーションさん)のご紹介にて訪問。こちらは、昔の映画フィルムの音声や音楽のリメイクを主に行っているスタジオです。具体的には古いフィルムのノイズ除去や、モノ音声をステレオにするなど、音声、音楽の復元を行っています。作業のメインにはProToolsシステムが使用されておりました。合計6台のProToolsが稼働されており、そのシステムは、機器のノイズや管理の問題からすべてマシーンルームにて管理されておりました。HDはマシーンルーム内でSCSIで接続され、すべてリムーバブル仕様(ホットスワップ)という残念なことにRorke Data社のもものではありませんでした。そしてスタジオとマシーンルーム間はUSBとイーサのみで接続。メインのスタジオ(THXスタジオに10月末認可される予定のスタジオ)ではProTools用のモニターが4台(2セットのProToolsをデュアルモニターで使用)、そして32ch仕様にしたProControlが2セット、バパーンと並べられており、実に見事でした。デュアルProControl64ch。まだ日本では見たことがありません。しかし、このようなシステムを目の当たりにしてProToolsの現在のポジション的なものを、あらためて確認できたような気がしました。



■FRONT PAGE RECORDING STUDIO フロントページ このスタジオは1980年にYAMAHAのR&Dが音響研究のために設立したスタジオです。スタジオデザインをした方はジョージアスパーさんという方で当時デジタルを意識し、3つのスタジオ間をコンクリートでセパレートした創りになっているということでした。主な仕事内容は、映画音楽、また通常の音楽のレコーディング、ミキシング。割合は、通常の音楽が65%、映画音楽が35%との事。こちらは3つのスタジオを持ち、1つはSSLのはいったアナログルームとして、ユーフォニクスシステム5とCS3000が入ったラージスタジオ。ここでの作業はミキシングが主。5.1用にメイヤーHD1、GENELEC、タンノイの3種類のスピーカーが用意されていたり、サブウーファーがパワード仕様で、しかもステレオでした。録音用にはユーフォニクスのR1が3台。ProToolsは導入されておりましたが、必要に応じて外部より持ち込まれると事でした。ちなみに、こちらのスタジオを案内してくれたのは、なんと元ベンチャーズのキーボード担当Biffさん。最後の最後に証されてビックリ!でした。



## AES出張レポート

Takahiko Yamamoto

AESとその後のスタジオ視察を終え、片寄った見方もあるかも知れませんが、以下のような情報をお伝えします。

1. DAWがかなり淘汰されてきた 相変わらずProToolsのシェアが拡大し、他社もProToolsとデータを共有するシステムとして展開してきた。その中でもDSPベースのシステム(大形DAW: フェアライト、dSP、AMS、DAR、Digidesign等)と、それに対抗したCPUベース(Steinberg社 NUENDO、MOTU、Emagic等)や、ダパー(レコーダーに中心を置いたタイプ)(MACKIE+HDR24/96、TEAC-MX2424、Euphonix-R1等)に別れて進化してきた。CPUベースのメリットはDSPエンジン(ハード)に依存せずCPUの能力でプログラムされる為、シンプルで拡張性もあり安価であるが、CPUのパワーによっては限界もある。今後ハイブリッド指向(DigiもRTAS対応)からCPUベースに移行される可能性も高い。



2. メディア互換 数多くのDAWが、ダパーとしてProToolsのファイルを吸い上げられたり、コンバートプログラムで対応している。Euphonix社のように、ProToolsのデータを直接取り込めるI/Oポートを装備する事を提案される等、データの共有化が計られる傾向にある。

3. ネットワーク化 まずは、自社内の機器間ネットワーク/イントラネットをSCSI、ファイバーワイヤー、イーサ、ファイバーチャンネル等で構築し、同一作業データを共有化する事と、他メーカーの機器とも接続を可能にする傾向にある。その中でも、現在の中心はイーサネット、ブラウザベースのデータを閲覧、インポートが、直接サーバーに記録して一括管理する方向にあった。しかし、遠隔地とのコミュニケーションについての従来のデータをテープやハードディスクで持ち込む方式からネット上で転送する方式に代わってきており、最先端は、リアルタイムに映像を送りながら、その映像に音入れや編集を遠隔地コントロールする方式であたかもアナログの世界を実現させるプロセスとしてGalley社のMtools(SFXネットワークシステム)、mSoft(サーバー管理データベース)、Rocketnet(オンラインネットワークエンジン)、ED-net(ネットワークマネージメント)、FC-net(RorkeData社のファイバーチャンネルシステム)等があり、何が良いかというより、シェアをとった所がスタンダードになるかも知れない。



4. サラウンド化 5.1サラウンドはあたりまえといった印象を持ちました。今回見学したスタジオでも大半はサラウンド対応になっていましたが、ミキシングコンソールやスピーカーの対応機種も増え、リバーブ1つを見てもLexiconの960L、TCElectronicのSystem6000、SONY、Roland等に続き発表されていたYAMAHAのSREV-1(サンプリングリバーブ)等は、強力なエンジンを持っているが市場価格¥50万とかなり身近になってきた。

DAWマーケットでもSteinberg社 NUENDOは標準でサラウンドをサポートしており、Digidesignも5.1バージョンで対応し、さらに新製品エディットパック(ムービングジョイスティック付きコントローラ)の発表と、KindOfLoud社(親会社UniversalAudio社に統合)のRealVerb5.1やサラウンドツール(Tweetie,Woofie)の発売で、トータルでの利便をアピールしていた。



全体での感想は、アメリカでのイントラネット(社内LAN)の普及率の高さとインフラ(外部との情報網)の整備、パイプの太さの違い(別々のスタジオ間をネットワークで結ぶ容量が日本のISDNの100倍以上に早い)などからも、日本は2-3年遅れている(アメリカが進んでいる?)様に感じました。また機材選定の考え方についても合理的であり必要な物には金を惜しまないようだが(制作費も十分とれる為か?)、必ずしも高価なミキサーが沢山入っているわけではなく、個々の制作ルームは10畳位の部屋が沢山あり、DAWで個別に作った物を合体させる感覚を持った。

## 導入実績例



### 株式会社マウスプロモーション様 studio MAUSU

#### ■アフレコスタジオ新設システム工事

- 主な機材:
- DAW: Digidesign ProTools24 MIX PLUS X 1, 888 24 I/O X 2, 1622 I/O X 1, USD X 1, ProControl(16フェーダー) X 1
  - ノンリニア・ビデオディスク・レコーダー: Digidesign ProTools24 AV Option X 1
  - VTR: SONY β-CAM UVW-1800 X 1, SONY S-VHS SVO-5800 X 1
  - デジタル・マルチ・レコーダー: TASCAM DA-78HR X 1
  - ラージ・スピーカー: ATC SCM100APro
  - スモール・スピーカー: YAMAHA NS-10M
  - Mic HA: TC Electronic Gold Channel X 2
  - CUEシステム: FM・CUEシステムレシーバー (20人分) 1set, 他

マウスプロモーション様は声優さんを数多く抱えるプロダクションであると同時に声優さんの養成所でもあります。よってstudioMAUSUはアフレコスタジオとして一般の作業の他に、声優の卵達が実際にアフレコを学ぶ場でもあります。弊社ではスタジオの構想設計当初から完成までトータルで請け負わせていただきました。ProTools24/ProControlを中核にProTools AV Optionを導入しノンリニアのシステムを構築しました。CUEシステムにはワイヤレスのFMタイプを使用し、わずらわしいコードさばきから解消されました。



### 学校法人 東京工学院専門学校様

#### ■音響実習室DTMシステム増設

- 主な機材:
- DOS/V 互換PC
  - SONIC FOUNDRY SOUND FORGE4.5, ●Roland U-8, 他



東京工学院専門学校様は、放送・音響系、情報系、建築系などの学科を持つ専門学校です。音響芸術科、音楽芸術科などが使用する音響実習室にDTMシステムを導入されました。波形編集ソフトにSONIC FOUNDRY社のSOUND FORGE4.5を採用し、Roland社のU-8をDTMデジタルミキサーとして使っています。いま旬のWebコンテンツの制作やMAを実習可能です。最大の特徴は、全学生が同時に実習をおこなえるよう、22台のクライアントPCとサーバーPCをEthernet(100BASE-TX)でネットワークを組みました。それにより先生および全学生の間でWAVEファイルなどを共有できます。また、学内LANにより2つの録音スタジオとも素材が共有でき、シームレスな制作環境が実現できました。MA、音楽制作、ネットワークなどの知識を習得可能な環境の実習室です。

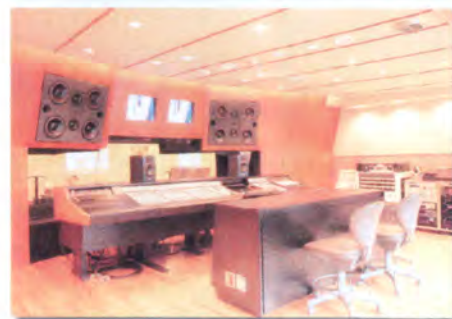


### 株式会社スカイパーフェクト・コミュニケーションズ様

#### ■MA編集スタジオ新設システム工事

- 主な機材:
- Digidesign ProTools 24Mix Plus
  - AV Option
  - ProControl
  - YAMAHA AW4416 他

スカイパーフェクト・コミュニケーションズ様のSky Perfect TV! 自社番組制作スタジオです。アナウンスブースは、マスタールームへ送るトランク回線と映像回線を設けてあり、生番組のナレーション録りができます。



### 株式会社ブーメラン様 (六本木)

#### Boomerang Studio

ProToolsフルシステム(ProControl32chフェーダー)のレコーディングスタジオがオープンしました。従来のコンソールを使わず、すべての操作をProControlで行なう本格的レコスタです。

## 導入実績例

### ACクリエイティブ株式会社様 AC Studio Bst

#### ■MAダビングスタジオ改修工事

- 主な機材:
- DAW: Digidesign ProTools24 MIX PLUS X 1, 888 24 I/O X 3, USD X 1, ProControl(16フェーダー) X 1
  - サラウンド・スピーカー: GENELEC 1032A X 5
  - サブウーハー: GENELEC 1092AD X 1
  - サブ・コンソール: YAMAHA AW-4416 X 1, 他



ACクリエイティブ様は既存のACStudioのBstの改修に伴い5.1サラウンドに対応したシステムにしました。主にダビングスタジオとしての活用の他、隣接のアナウンスブースによりナレ録りも可能です。弊社ではシステムの設計と施工を請け負わせていただきました。ProTools24/ProControlとFairlight MFxの併用で順応性の高いシステムを構築しました。また、サブミキサーにはAW-4416を採用するなど、スタッフの新たな機器を積極的にシステムに取り込む意欲も伺えます。更に、Ast用にもProTools24を導入し、フォーマットの互換をとっています。

### ソニーPCL株式会社様

408THX SuiteはMAスタジオの中でも初の国内最大規模のTHXpm3™認証取得されたサラウンド対応スタジオとしてオープンしました。弊社ではProToolsを含めた機材システムコーディネートをしていただきました。今回のスタジオは、THXの認証を得るため大変な苦勞をなされておられましたが、スピーカーは、フロントにJBL、サブウーハーM&K、リアーにM&Kトライポールx6本を設置し、スクリーンはスチュアート製130インチを採用しました。SSL/AVANT56chフェーダーコンソールにDAWは、フェアライト24chとProTools32ch+24chにダバーとしてTEAC/MX2424が設置されており、全てのリモートをTAMURA/TRX-3000でコントロールできるようになっています。



SONY PCL様 408THX Suite



スクリーンを巻く前の408スタジオ



408マシーン機材

### 横浜インターナショナル・スクール様



- 主な機材
- ProTools24Mix Plus
  - ProControl, 他

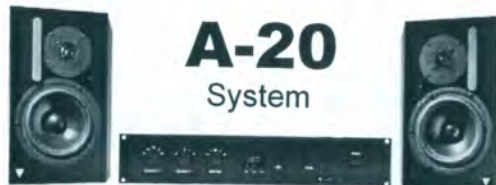
港の見える丘公園の真ん前にある、横浜インターナショナルスクールは幼稚園から高校までを対象とされた英語教育の専門学校で、このたび校舎増築に併せてスタジオを新設されました。スタジオ内では通常の音楽の授業から音楽制作、ビデオ制作まで行えるよう、防音ルーム・録音ブース、ProToolsを導入した音声編集室、DV編集室が備えられています。



## 新製品ニュース

Vergence Technology 社 (米) の  
NHT PRO スタジオ・アクティブ・モニタースピーカー近日発売予定!!

Vergence Technology NHT PRO



**A-20**  
System

M-00

ヴァージェンステクノロジー社のA-20/A-10 Systemは、独特な角度の前面パッフル板を持つことで、キャビネット内で起こりがちな定在波を解消し、極めて歪みの少ないクリアな中低音のサウンドを再生可能になりました。今までとはひと味違ったニア/ミッドフィールドモニタースピーカーとして注目できそうです。センタースピーカーのC-20とステレオサブウーハーのB-20の組み合わせでサウンドにも対応。また、小型のM-00、S-00も気になる存在になるでしょう。

RorkeData社のディスクアレイ、"MaxArray"シリーズ取扱開始!

**RORKE DATA MaxArray**

ロークデータ社のMaxArrayの筐体は、4-Bay Tower、8-Bay Tower、8-Bay Rack (3U) の3種類で、インターフェイスはLVD、Ultra3、FibreChannelとなります。実装ドライブキャパシティは36GB (9GB x 4台) から584GB (73GB x 8台) と、非圧縮映像で約9時間記録できるキャパシティを可能としています。ドライブスピードも7,200回転、10,000回転 (9GB/18GBのみ) と選択可能です。MaxArray筐体は、ドライブ発熱に強く、ドライブ振動にも強いオールメタルエンクロージャー、キーロック付のフロントドア、ホットスワップキャニスター、さらにケーブルを殆ど排除した構造、LEDアラームで故障を知らせてくれるホットスワップ・ファン、ホットスワップ・パワーサプライ (4-Bayは除く) からなっております。

LVD、Ultra3モデルはSCSI接続になり、ストライピング (RAD-0) に適しており、非圧縮映像等に有効といえるでしょう。今までのSCSI接続では、ドライブのつなぎ換え、リムーバブルドライブの差し換え、イーサネット上でのコピー等が主流でした。FibreChannelモデルは、Fibre Channel SAN (Storage Area Network) が構築でき、MaxArray単体では2台のホストコンピュータが同時に同じファイルにアクセス可能になり、FibreChannelスイッチング・ハブを使用すれば3台以上でのシェアリングが可能になります。さらにMaxArrayを追加することにより大容量化が可能です。(Max18TB) ケーブル長はCopper (シリアル) では25mまで引き伸ばせ、Optical (マルチモジュール) は500m、Optical (シングルモジュール) では10Kmまで可能です。



Compatible hardware:  
Macintosh, IBM, Intel-based systems, SGI, SUN, Compaq

Compatible OS:  
MAC OS, Windows98-NT, Solaris, Irix, Linux

Data Rate:  
MaxArray-LVD 80MB/Sec  
MaxArray-Ultra3 160MB/Sec  
MaxArray-FC 100MB/Sec single loop  
MaxArray-FC 200MB/Sec dual loop

※ InterBEE ではMaxArrayの4-Bay Towerと2台のMacintosh G4でFibre Channel SAN (Storage Area Network) のProTools接続でのデモンストレーションを予定しております。

**GALLERY Mtools SFX ネットワーキングシステム**

ギャラリー社のMtoolsは、Digidesign Pro Toolsワークステーションに、パワフルなSFX ネットワーキングシステムを提供します。SFX & MUSIC ライブラリーCDやプライベート ライブラリーのデータベースを構築するために、必要とするすべてのツールを提供します。ProToolsとのリンク機能で、使用したい素材を瞬時に検索しProToolsへ送るなど、理想的なコンビネーションで、快適なネットワークシステムを構築することができます。Mtoolsにより、サウンドライブラリーのデータベース化、そしてデータの共有化と、より効率的に作業できる環境を構築して下さい。



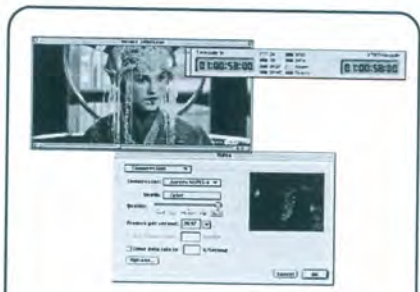
パッケージ内容:  
 • CDStudio M.T.: オーディオCDをSCSI経由でMacintoshへ取り込むソフト (Indexに対応)  
 • SampleSearch: ネットワークに対応したファイルマネージメントソフト (検索/再生/インポート機能)  
 • SFX Database Builder: データベース構築を作成 (FileMakerProへインポートするためのテキストデータを作成)  
 • SMI Overview Builder: SMI 波形構築の構築  
 • mCODE: MPEG1、2、3 (MP3) に対応したMPEGエンコーダ  
 • dCODE: MPEG1、2、3 (MP3) に対応したMPEGデコーダ  
 • FileMaker Pro Template: データベース用テンプレート  
 • 1200+ CDLink library for all commercial SFX CDs: 1200種類のCDライブラリーのインテックデータ

主な特徴:  
 • ライブラリーCDから最大18倍速でのパッチトランスファー  
 • トランスファーするとともに、自動的にSFXサンプルを編集  
 • 自動的に、FileMakerProデータベースを構築  
 • 非圧縮あるいはMPEGオーディオをシームレスに使用  
 • ネットワークに対応した、データの検索、再生機能  
 • ローカルHDへのコピーおよびファイル共有機能を持ったProToolsへのインポート機能  
 • FileMaker Pro Template: データベース用テンプレート  
 • 完全なユーザーカスタマイゼーション機能と業界標準FileMakerProソフトウェアをサポート  
 • ローカルネットワーク上、あるいはFTP/HTTP経由でのオペレーション

**GALLERY VirtualVTR あなたの古いMacintoshを再利用し、ノンリニアVTRシステムを構築**

ギャラリー社のVirtualVTRは、あなたのお持ちの古いコンピュータを再利用して、MIDI、または9 Pinによってコントロール可能なノンリニアVTRシステムを構築することが可能です。この場合、ProToolsシステムとノンリニアVTRは完全に統合した動作環境を作ることが可能です。VirtualVTRは、ProToolsシステムとは、異なるコンピュータを使用するため、ProToolsにQuickTimeムービーをインポートして使用するよりも、ProTools (CPU) に負担をかけることなく、またデータベースのVTRよりもランダムアクセスが可能のため、よりスピーディーな作業環境を構築することが可能になります。

主な特徴:  
 • ProToolsシステムから、MIDI or 9pinでVirtualVTR (QuickTimeムービー) をコントロール可能  
 • 従来使用していたビデオ、オーディオおよびネットワーク・ハードウェアを自由に選択可能  
 • 記録された画像の正確なフレームに同期できる、精巧なQuickTimeビデオ・キャプチャー機能  
 • QuickTimeをキャプチャー時に、タイムコードを読み込む正確なタイムスタンピング  
 • ProToolsシステムの貴重なPCIスロットを解放  
 • QuickTimeハードウェア、およびFirewireを通してDVフォーマット画像を含むソフトウェアコーデックおよびデバイスをサポート  
 • ProTools Plug-inウィンドウ中のコントロールをドラッグする時、VirtualVTRのビデオは同期して再生  
 • ProToolsシステムコンピュータのCPUパワーを解放  
 • ハイクオリティ画像のサポート: 非圧縮のHD画像、1080P、24P  
 • MMC、MTCに対応



## 新製品ニュース

新作! SoundIdeas社の効果音ライブラリー

サウンドアイデア社の効果音ライブラリー新作3タイトルを発売します。もちろんすべて著作権フリー、日本語索引マニュアル付きです。デモCDなどの資料もご用意しておりますので、お気軽にご請求下さい。



船船関係の音源を総合的に収録!!  
 タイトル : ANCHORS AWAY (アンカーズ アウェイ)  
 カテゴリー : ボートと水上船の効果音集  
 セット枚数 : 15枚組  
 収録音数 : 1217音源  
 定価 : 110,000円

主にボート関係のあらゆる音源を収録しています。各種の舟、ボート、カヤック、ジェットスキーなどのスタート、アイドリング、エンジン停止、接岸、方向転換などなど様々な状況音を収録していますので、船舶の効果音付けはコレ1セットで網羅できます。ボートストラックとして、アンカー、ブイ、ドック、バドルなどの周辺音なども収録されています。

主な収録船舶:  
 カヌー/カヤック/ロウボート/バドルボート/ジェットスキー/ジェットボート/ハイドロプレーン/エアポート/フィッシングボート/スキー&スピードボート/パワーボート/ホバークラフト/フェリー/バドルホイールリバーボート/スチームボート/キャビンクルーザー/ヴェンテージボート/など

主な収録音:  
 スタート/アイドリング/エンジン始動&停止/接岸/川を横切り方向転換/だんだん速度を早めて速く/進水させる/岸に乗り上げる/バドリング/連結&切り直し/モーター音/発電機/スロットル/デッキ/キャビン/エンジン室/ホーン/シグナルベル/スチーム/帆/など



パンチの効いた音あります!  
 タイトル : IMPACT EFFECTS (インパクト エフェクト)  
 カテゴリー : 打撃・破壊効果音集  
 セット枚数 : 1枚組  
 収録音数 : 605音源  
 定価 : 25,000円

インパクトエフェクトは1枚組ですが、打撃や衝撃、破壊と言った種類の音が600音源以上も収録されています。しかもどれもハイクオリティで収録されておりますので、SFXはもちろん様々なアクションシーンで活躍します。

主な収録音:  
 体に矢が刺さる/木に矢が刺さる/自動車衝突/自動車爆発/ボールが落ちる・当たる/体が落ちる/ビル破壊/小銃弾の着弾音/キャビネットを破壊/地震で破壊・爆発/ガス爆発各種/各種ヒット音/家が爆発/人に銃弾が当たる/ボディーにナイフ/木にナイフ/金属が壊れる・落ちる・当たる/プラスチックが壊れる/岩が壊れる・割れる/スナック菓子をつぶす/剣が体に刺さる/木片を壊す・潰す/など

観客リアクション集の追加版です。さらに多くの"リアクション"を収録しました。



タイトル : Audience Reactions II (オーディエンス リアクション 2)  
 カテゴリー : 観客リアクション効果音集  
 セット枚数 : 2枚組  
 収録音数 : 507音源  
 定価 : 38,000円

オーディエンスリアクションをリリースした時に、多くの方々から賛辞をいただきましたが、今回は更なるご要望にお応えするべく追加版をリリースいたしました。AR IIでは「ライブアター」「各種スタジオ」などで広範囲にわたり収録、男女・年齢・人数など観客の幅も広げています。リアクションの種類も「拍手喝采」「乾杯」「怒り」「ブーイング」「笑い」「叫び」などなど、前作にさらに細かく追加して収録していますので、併せてお使い頂ければリアクションとしての効果音集で、これだけのライブラリーは他にありません。

主な収録音:  
 AR-03は中規模スタジオの観客: 拍手/スタンディング オベーション & 座る/乾杯/ユニゾンでリズムカルな拍手/わき上がる拍手/"Hip Hop Hoorey"/Charge!/Go Team Go!/同情と落胆/エキサイト & 信じられない/ファイト、パニックとホラーの叫び/笑いと拍手/ブーイング/怒りの叫び/  
 AR-04は小規模スタジオの観客: 男性一人と女性一人のリアクション/子供たちのリアクション/ブーイング/怒りの叫び/乾杯/笑い/同情/男女の笑い/驚き/ショック、安心と落胆/積極的と消極的/ハッピーニューイヤークラッシュ/叫び各種 (パニック、恐れ、崇拜)/Go Team Go! & De/Fence/"Hip Hop Hoorey"/など

新規取扱開始! セラフィン社の効果音ライブラリー



フランクセラフィン氏の代表作は、アダムス・ファミリーやレッド・オクトーバーを並え、トロン、ホルターガイスト、スタートレック等...

Serafine Studio's Collectionをタックシステムから発売します!!ハリウッドでもっとも著名なサウンドデザイナーであるFrank Serafine氏のサウンドコレクションは製作に4年を費やした、ハイクオリティな効果音集です。数々の賞に輝いている彼のサウンドワークを是非ともご活用ください。もちろんすべて著作権フリー、日本語索引マニュアル付きです。デモCDなどの資料もご用意しておりますので、お気軽にご請求下さい。

この16枚組ライブラリーはSFXの集大成です。  
 タイトル : SFX GENERAL SERIES (SFX ジェネラル シリーズ)  
 カテゴリー : SFX効果音集  
 セット枚数 : 16枚組  
 定価 : 180,000円

収録カテゴリー:  
 アンビエンス/ドア/エレクトロニクス/FOLEY 1/FOLEY 2/足音/ホーム&オフィス/ヒューマン&動物/工業 1/工業 2/マジック/メタル/娯楽/特殊効果&SCI FI/輸送/水/など

銃関係だけでこれだけ豊富な効果音集はほかにありません。  
 タイトル : GUNS OF CINEMA (ガンズ オブ シネマ)  
 カテゴリー : 銃効果音集  
 セット枚数 : 10枚組  
 定価 : 128,000円

収録カテゴリー:  
 マシンガン (屋外)/マシンガン (室内)/ピストル#1 (屋外)/ピストル#2 (屋外)/ピストル#1 (屋内)/ピストル#2 (屋内)/ライフル銃&ショットガン/GUN FOLEY/小銃弾/歴代の銃たち



## 2000年国際放送機器展(Inter Bee2000) 出展に関して

日本コンベンションセンター幕張メッセにて開催されます「2000 国際放送機器展」に、今年も「プロオーディオ部門」にて出展をさせていただきますので、ご案内させていただきます。

主な出展内容  
 タックシステム : サイレント ProTools24システム「消音ラック」  
 8ch オーディオレベルマッチングアンプ「OCTET」  
 コンパクト 2VU メーター「VU201H」  
 TD&TFA-ドレイン  
 View Tronics 社 : デジタルビデオディスクレコーダー「VPER」  
 GALLERY 社 : SFX ネットワーキングシステム「Mtools」  
 バーチャル VTR システム「Virtual VTR」  
 JL COOPER 社 : ProTools 対応メディアコマンドステーション「MCS-3800」  
 「CS-10 II」「MCS3」  
 Video Quip 社 : オーディオ & ビデオ周辺機器「Phase 3」シリーズ  
 RORKE DATA 社 : リムーバブル SCSI ストレージケース各種  
 Serafine Studio : 新作効果音ライブラリー各種

開催期間 : 2000年11月15日(水) ~ 11月17日(金)  
 開催時間 : 10:00 ~ 17:30 (17日は17:00終了)  
 場 所 : 日本コンベンションセンター(幕張メッセ)  
 弊社小間番号 : 4210 番(ホール 4)

\*入場は無料です。(会場入口にて登録カード記入)

## Magtrax 社(英)の正規総輸入販売元に決定

**magtrax**  
 surround technology

以前ご紹介済みの Magtrax 社(英)の正規総輸入販売元に弊社が決定しました。商品ラインナップは「Music Box」を代表とするサラウンドモニターコントローラーが主で、5.1サラウンド、ドルビーサラウンド等の各フォーマットの面倒なモニター環境を簡潔に、しかも安価にまとめあげるコントローラーとして注目をあびてきました。今後は7.1サラウンドやドルビー EX6.1、タウンミックスに対応したモデルも順次発表予定。

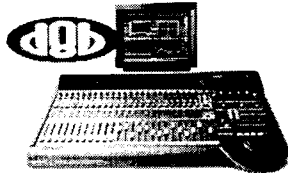
サラウンドサウンドモニタリングコントローラー  
**MUSICBOX** 価格 ¥480,000-

- ドルビーサラウンド、5.1&7.1 ミキシング/マスタリングのためのルーティング/ミキシングおよびレベルコントロールを装備
- 3マトリックスモード
- ヴァーチャル7.1モード装備



## MACKIE 社製品の取扱に関して

**MACKIE**  
 Digital Systems



d8b



HDR24/96

この度マッキー社のお話作、フルデジタル8バスミキシングコンソール「d8b」(¥1,600,000)と24トラック24bitデジタルレコーダー/エンコーダー「HDR24/96」(¥800,000)の販売特約店になりましたのでご案内申し上げます。スタートタッシュキャンペーンとして上記のセットが¥2,000,000-で購入できる「System2000k」バックも見逃せません。(くわしくは弊社まで) HDR24/96 の発売と同時にデモ機を用意する予定です。ご要望のお客様はお気軽にお問い合わせ下さい。

## Kind of Loud Technologies 社製品の取扱に関して

Kind of Loud Technologies 社は、Kind of Loud Technologies 社の親会社であります Universal Audio 社に統合されましたので、2000年10月1日より、国内輸入元が株式会社メガフュージョン様へ移行となりました。今後は株式会社メガフュージョン様が輸入元総代理店としてディストリビューションを開始致します。弊社での販売は従来通り行ないませんが、サポートに関する事項は株式会社メガフュージョン様へ移行となります。すでに御購入頂いておりますユーザー様へは改めてご案内させていただきます。何卒御了承の程よろしくお願い申し上げます。

### ■視察を終えて (独り言.....) by Yamamoto

今回の AES は 9月22-25日口サンゼルスにて開催され、弊社より2名を含めトータル20名のTACツアーになりました(Digiディーラーの方、MAスタジオ及び放送局の方等々)この人数でスタジオ見学ツアーをAES終了後、2日間企画した為バスで大移動となりましたが、それぞれのスタジオで快く隔々まで見せていただくことができ、非常に勉強になりました。しかし、このようなツアーは毎回企画できず(先方のスタジオにとっては、即ビジネスになるわけでもなく良い所だけ真似されるように思われても仕方がない)今後、日本からも仕事上のギブ&テイクもしくは、メリットがある最先端の情報を持ってゆきオープンにつきあえる仲間を増やしたいなあ~~~~

### ■視察を終えて by Shimegi

今回、海外のスタジオを視察して感じたことは、ネットワーク化が非常に速いペースで進んでいるということ。どのスタジオにおいてもネットワークシステムが構築されており、そのシステムも半端なものではなく、すでにフル稼働の状態でした。ネットワークが充実することで、素材のシェアはもちろん、一つのセッションをシェアすることまで可能になる。海外の人間ともリアルタイムにやりとりができるようになるわけで、これまでの仕事のスタイルが、ガラッと変わってくるのではということを感じました。各社のネットワークシステムの今後に、つねに注意してみたいと思います。

また、サラウンドに関してですが、スピーカー配置や製作に関するところでは、まだまだ研究されている分野ではありますが、すでにこのスタジオにおいてもサラウンド環境が作られていたということに驚きがありました。もう日常業務になっている。そんな状況を感じました。

それから今回6件ほど見学してきましたが、デスクトップタイプのHDを一度も見なかった。みなリムーバブル仕様だった。

とにかく今回大変良い経験をさせていただきました。スタジオをご紹介くださった方々へ、この書面を借りてお礼をさせていただきたいと思います。ありがとうございました

### ◆編集後記◆

TAC Information に関わって4号目となりました。その間、毎度のように原稿不足に陥り、一時は発行延期?などという議論の末、2頁減になったこともありました。そんな、無い原稿のネタ作りで頭を悩めたことがウソのように、このVol.16は前号からの半年のブランクも手伝ってか、多数の原稿が寄稿されました。その為、泣く泣くカットされた原稿もたほほどでした。残念ながらそれらは長期保存はできませんので、皆さんまた次号へ向けてネタ作りを頑張ってください。

by Osawa



セラフィンさんと、TACツアーの皆様  
 セラフィンスタジオの前で